

新潟県の地震概況 令和6年(2024年)7月

令和6年8月7日

新潟地方気象台

【7月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は7回（最大は震度3）でした。新潟県とその周辺（図1）で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は3回でした。（「期間内に発生した主な地震」を参照）

【7月に新潟県周辺で発生した地震】

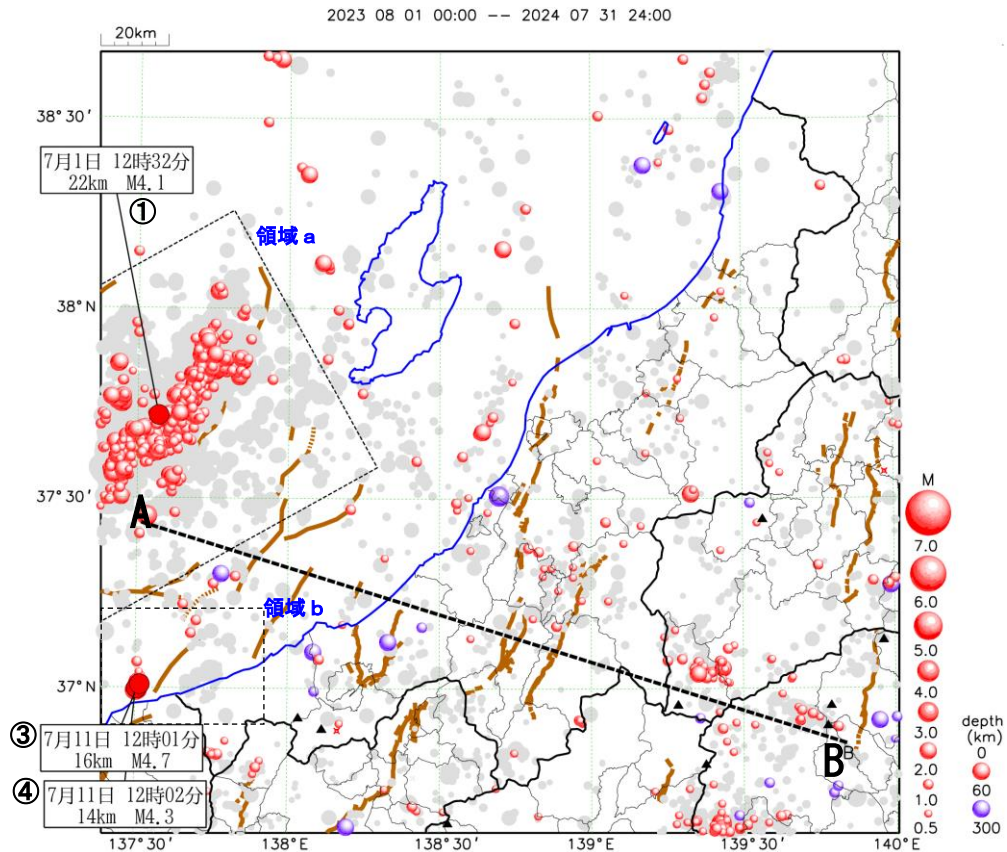


図1 震央分布図（深さ0~300km、M0.5以上）

※過去1年間の地震を表示。令和6年7月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、⌘は深部低周波地震を示す。

※領域aは令和6年能登半島地震の活動域を示す。

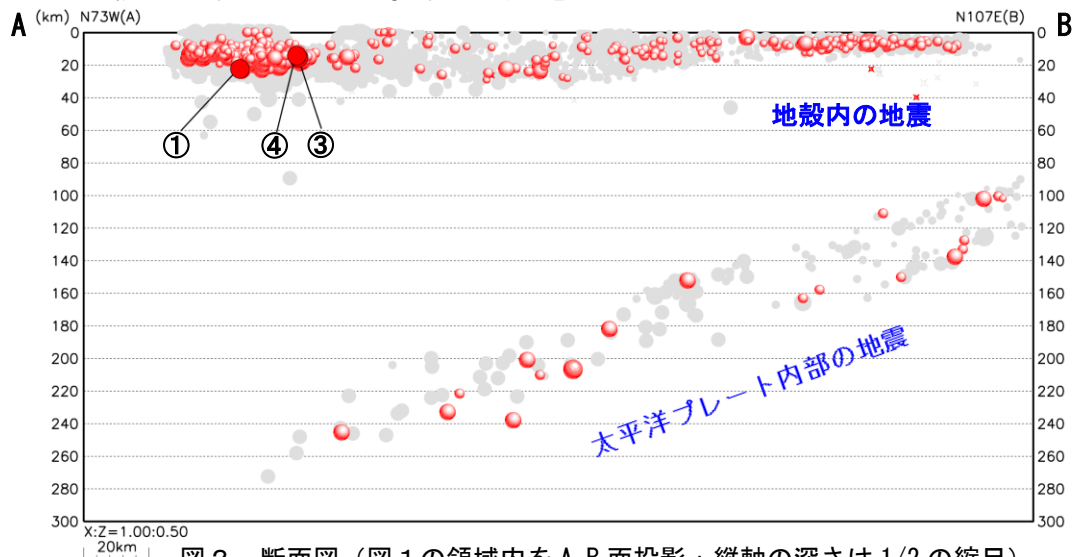


図2 断面図（図1の領域内をA-B面投影：縦軸の深さは1/2の縮尺）

【期間内に発生した主な地震】

- ② 4日12時12分 千葉県東方沖の地震（M5.2、深さ49km）により、千葉県で震度4を観測したほか、関東甲信越地方及び静岡県で震度3～1を観測しました。新潟県内では南魚沼市で震度1を観測しました。

1997年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、2018年7月7日に深さ57kmでM6.0（最大震度5弱）地震が発生し、一時地震活動が活発化していました。

- ③ 11日12時01分 富山湾の地震（M4.7、深さ16km）により、新潟県、富山県で震度3を観測したほか、北陸地方、長野県、岐阜県及び福島県で震度2～1を観測しました。新潟県内では上越市で震度3を観測したほか、県内広く震度2～1を観測しました。また、④11日12時02分

（M4.3、深さ14km）にも地震が発生し、糸魚川市、上越市で震度1を観測しました。これらの地震は地殻内で発生しました。

この周辺（図3）では、1月1日の石川県能登地方の地震（M7.6）以降活動が活発になった領域で、今回の富山湾の地震の他にも、新潟県上中越沖でも地震活動が活発になっていました。

（新潟県の地震概況、2024年1月、2月参照）

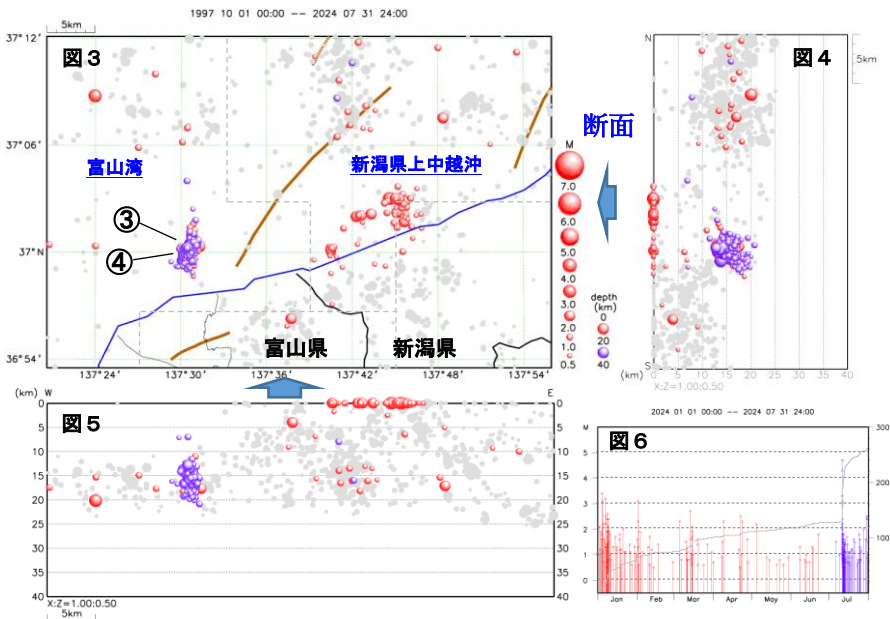


図3：図1の領域b内震央分布図（深さ0～40km、M0.5以上）
1997.10～をグレー、2024.1～を赤、2024.7を青色で示す。
図4、5：図3領域を各方向からの断面図（深さは1/2に縮尺）
図6：図3領域内の活動経過及び回数積算図（2024.1～7）
左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数

- ⑤ 18日20時07分 八丈島東方沖の地震（M5.7、深さ100km）により、東京都で震度3を観測したほか、東北地方南部、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測しました。新潟県内では南魚沼市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレート内部で発生しました。
- ⑥ 22日10時07分 茨城県北部の地震（M4.8、深さ89km）により、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県で震度3を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度2～1を観測しました。新潟県内では長岡市、十日町市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレート内部で発生しました。 ※情報発表に用いた震央地名は「茨城県沖」です。
- ⑦ 31日01時47分 東京都多摩東部の地震（M4.7、深さ121km）により、千葉県、東京都、神奈川県で震度3を観測したほか、関東甲信越地方、静岡県及び福島県で震度2～1を観測しました。新潟県内では南魚沼市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレート内部で発生しました。 ※情報発表に用いた震央地名は「東京23区」です。

○令和6年能登半島地震

令和6年能登半島地震の地震活動は、2020年12月から3年以上続いており、1月1日に発生したM7.6の地震からは7ヶ月以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきていますが、6月3日にM6.0の地震が発生するなど依然として地震活動は活発な状態です。

7月中の最大規模の地震は、1日12時32分（最大震度1）に発生したM4.1の地震です。震度1以上を観測した地震は20回発生^{（注1）}しており、その内、新潟県で震度を観測した地震は①1日12時32分 佐渡付近（M4.1、深さ22km）で発生した地震の1回（佐渡市で震度1）でした。

注1）震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

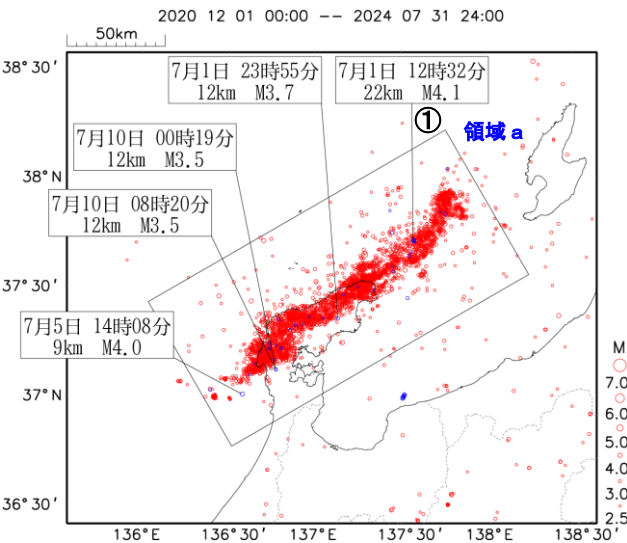


図7 震央分布図（深さ0～30km、M2.5以上）

- ・図7の吹き出しは2024年7月に発生した、最大震度3以上の地震又はM3.5以上の地震
- ・図8の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・2020年12月～2024年6月に発生した地震を赤色、2024年7月を青色で示した

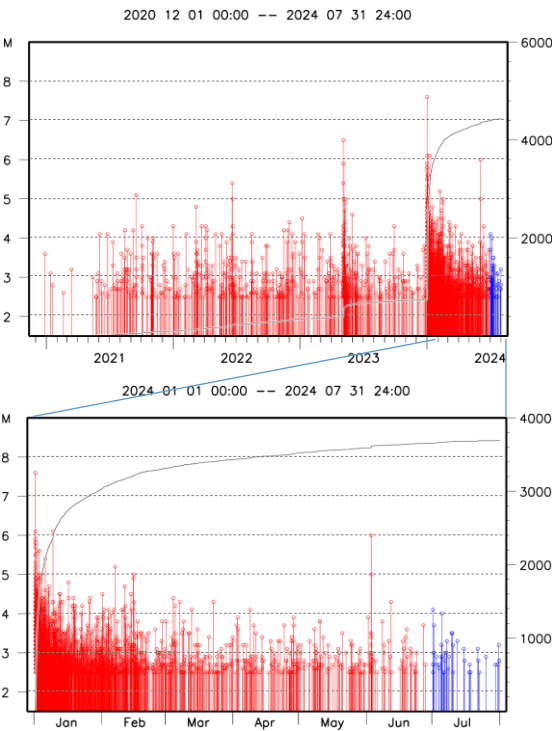


図8 図7の領域a内の活動経過図及び回数積算図

※丸番号は、【新潟県内で震度1以上を観測した地震】の一覧表に掲載している番号です。

【新潟県内で震度1以上を観測した地震】期間 2024年7月1日～2024年7月31日

※ *1は令和6年能登半島地震の活動域内で発生した地震

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2024年07月01日12時32分	佐渡付近	37° 43.0' N	137° 34.1' E	22km	M4.1	1 *1
震度 1：佐渡市相川三丁目、佐渡市岩谷口*、佐渡市両津湊*、佐渡市松ヶ崎*、佐渡市千種*、佐渡市河原田本町*、佐渡市畑野*、佐渡市羽茂本郷*、佐渡市真野新町*、佐渡市赤泊*、佐渡市相川栄町*、佐渡市両津支所*、佐渡市小木町*						
② 2024年07月04日12時12分	千葉県東方沖	35° 12.5' N	140° 27.8' E	49km	M5.2	4
震度 1：南魚沼市六日町						

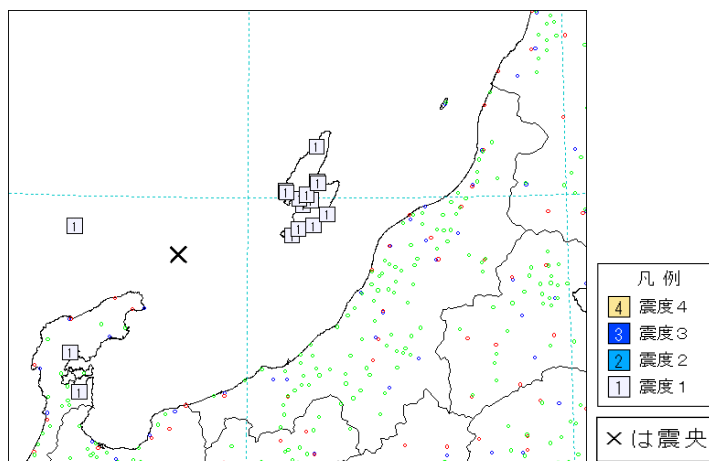
地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
③ 2024年07月11日12時01分	富山湾	37° 00.5' N	137° 30.9' E	16km	M4.7	3
震度 3：上越市安塚区安塚＊						
震度 2：糸魚川市一の宮, 糸魚川市大野＊, 糸魚川市青海＊, 上越市大手町, 上越市木田＊, 上越市浦川原区釜淵＊, 上越市牧区柳島＊, 上越市柿崎区柿崎＊, 上越市大潟区土底浜＊, 上越市頸城区百間町＊, 上越市吉川区原之町＊, 上越市三和区井ノ口＊, 柏崎市高柳町岡野町＊, 十日町市松代＊, 十日町市松之山＊, 刈羽村割町新田＊						
震度 1：糸魚川市能生＊, 上越市中ノ俣, 上越市中郷区藤沢＊, 上越市清里区荒牧＊, 上越市大島区岡＊, 上越市板倉区針＊, 上越市名立区名立大町＊, 妙高市田町＊, 妙高市栄町＊, 妙高市田口＊, 長岡市寺泊一里塚＊, 長岡市浦＊, 長岡市上岩井＊, 長岡市小国町法坂＊, 長岡市小島谷＊, 長岡市山古志竹沢＊, 長岡市寺泊敦ケ曾根＊, 長岡市寺泊烏帽子平＊, 長岡市東川口＊, 長岡市中之島＊, 三条市西裏館＊, 三条市新堀＊, 柏崎市西山町池浦＊, 柏崎市日石町＊, 小千谷市城内, 小千谷市旭町＊, 十日町市下条＊, 十日町市千歳町＊, 十日町市上山＊, 十日町市水口沢＊, 見附市昭和町＊, 出雲崎町米田, 出雲崎町川西＊, 魚沼市下折立, 魚沼市今泉＊, 魚沼市須原＊, 魚沼市穴沢＊, 魚沼市小出島＊, 南魚沼市六日町, 南魚沼市塩沢小学校＊, 南魚沼市塩沢庁舎＊, 燕市秋葉町＊, 燕市分水桜町＊, 弥彦村矢作＊, 阿賀町鹿瀬中学校＊, 新潟南区白根＊, 新潟西蒲区役所, 新潟西蒲区巻甲＊, 佐渡市相川三町目, 佐渡市岩谷口＊, 佐渡市両津湊＊, 佐渡市千種＊, 佐渡市河原田本町＊, 佐渡市畑野＊, 佐渡市羽茂本郷＊, 佐渡市真野新町＊, 佐渡市赤泊＊, 佐渡市相川栄町＊, 佐渡市両津支所＊, 佐渡市新穂瓜生屋＊, 佐渡市小木町＊						
④ 2024年07月11日12時02分	富山湾	36° 59.8' N	137° 30.3' E	14km	M4.3	3
震度 1：糸魚川市一の宮, 糸魚川市大野＊, 糸魚川市青海＊, 上越市安塚区安塚＊, 上越市頸城区百間町＊, 上越市三和区井ノ口＊						
⑤ 2024年07月18日20時07分	八丈島東方沖	33° 34.0' N	140° 14.5' E	100km	M5.7	3
震度 1：南魚沼市六日町						
⑥ 2024年07月22日10時07分	茨城県北部	36° 46.7' N	140° 44.6' E	89km	M4.8	3
震度 1：長岡市山古志竹沢＊, 十日町市松代＊						
⑦ 2024年07月31日01時47分	東京都多摩東部	35° 40.9' N	139° 34.6' E	121km	M4.7	3
震度 1：南魚沼市六日町						

【震度分布図】

図中 ○ は震度観測点を示す

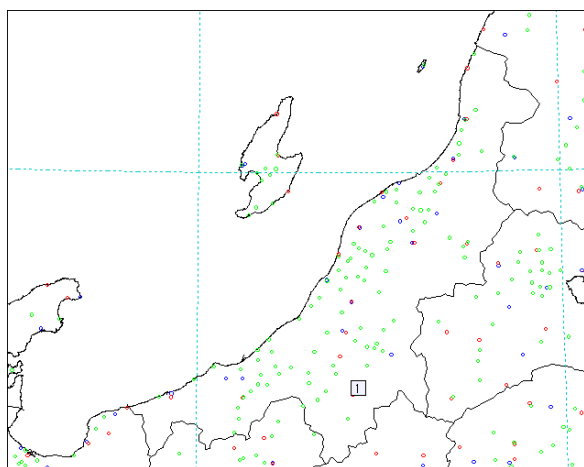
① 1日12時32分 佐渡付近

観測点別震度分布図

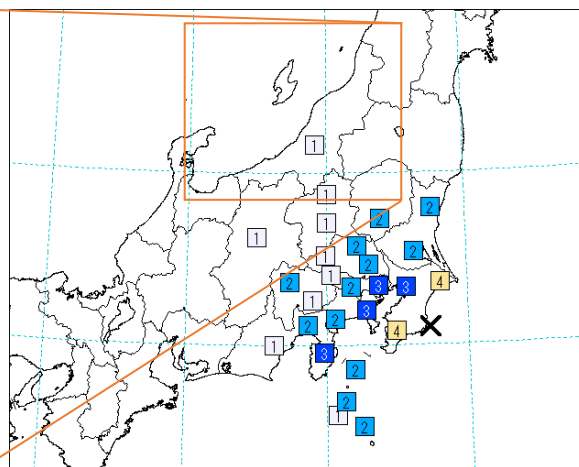


図中 ○ は震度観測点を示す

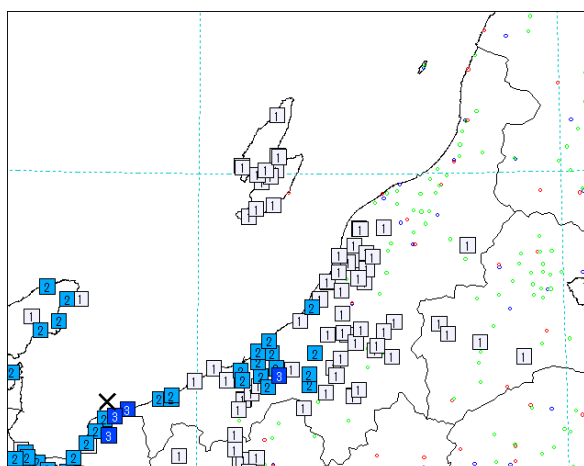
② 4日12時12分 千葉県東方沖
観測点別震度分布図



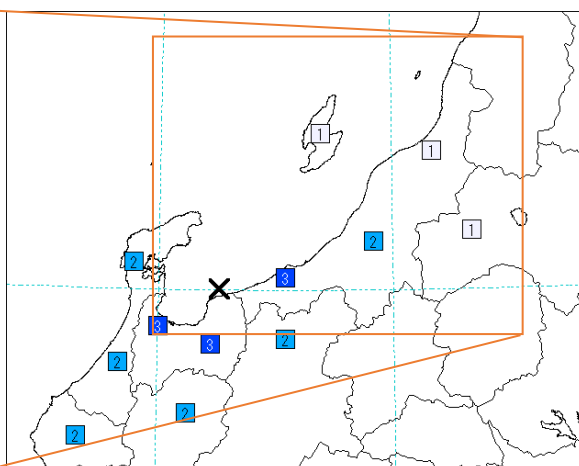
地域別震度分布図



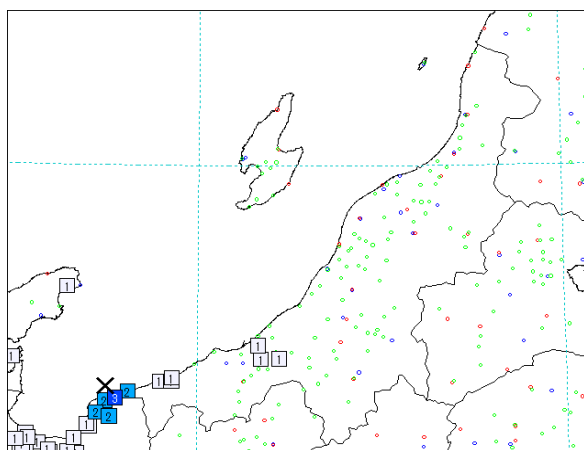
③ 11日12時01分 富山湾
観測点別震度分布図



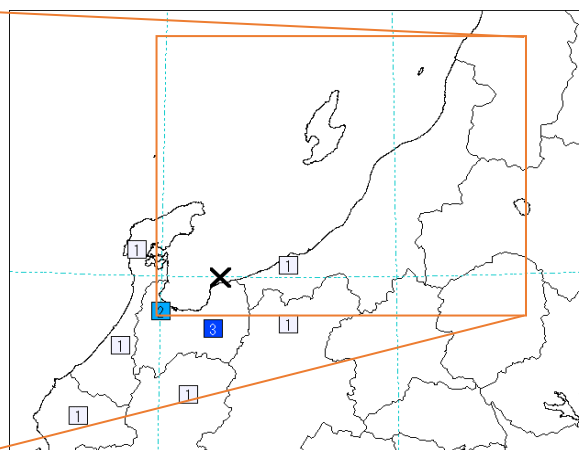
地域別震度分布図



④ 11日12時02分 富山湾
観測点別震度分布図

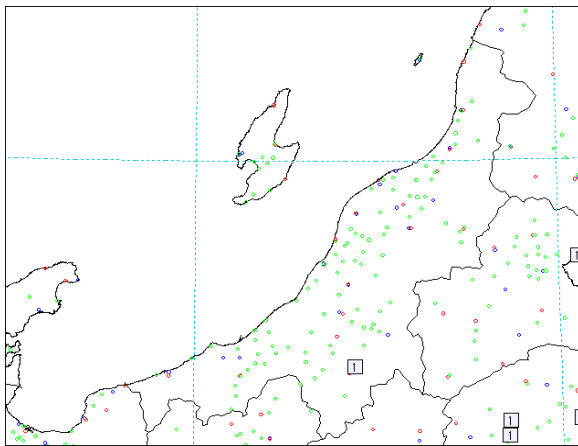


地域別震度分布図

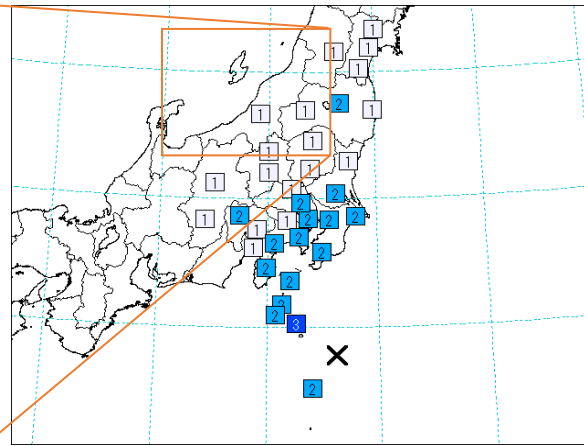


図中 ○ は震度観測点を示す

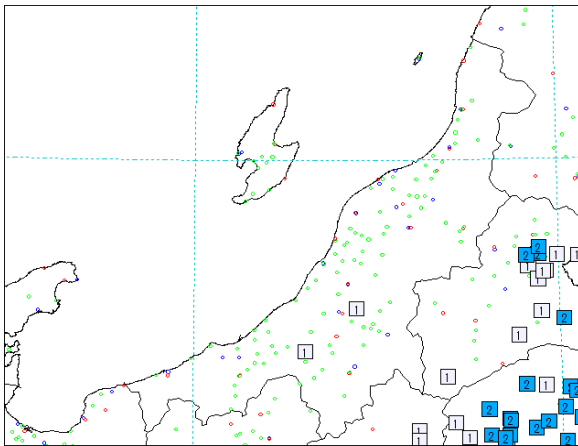
⑤ 18日20時07分 八丈島東方沖
観測点別震度分布図



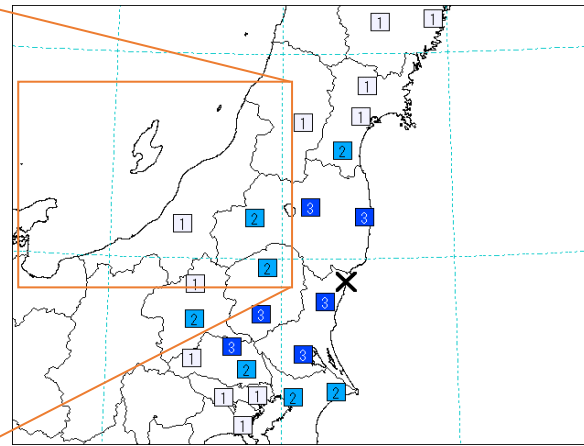
地域別震度分布図



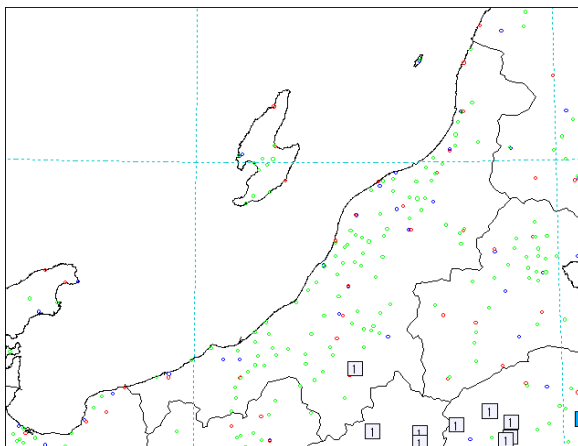
⑥ 22日10時07分 茨城県北部
観測点別震度分布図



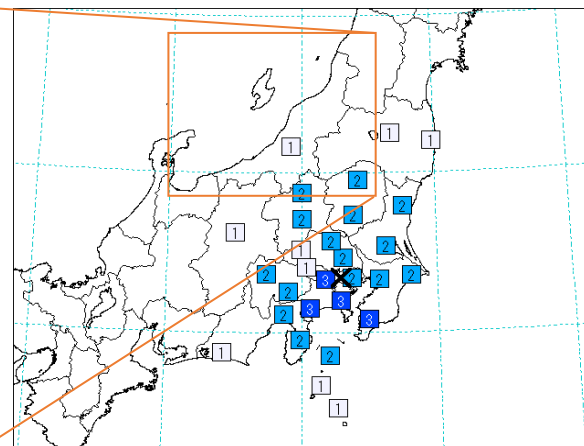
地域別震度分布図



⑦ 31日01時47分 東京都多摩東部
観測点別震度分布図



地域別震度分布図



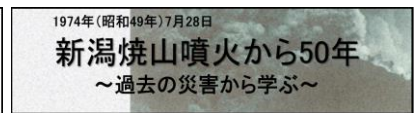
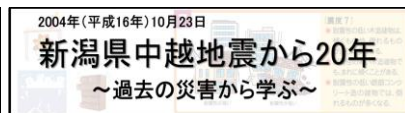
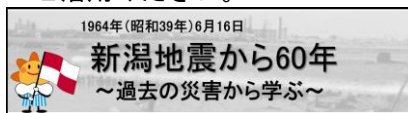
【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2023 年					2024 年							
月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	合計
震度 1	2	3	1	3	3	96	6	7	1	2	6	6	136
震度 2	1	1	0	1	1	32	4	1	2	0	1	0	44
震度 3	0	0	0	1	0	12	3	0	0	0	0	1	17
震度 4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
震度 5 弱	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
震度 5 強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 6 弱	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	3	4	1	5	4	143	13	8	3	2	8	7	201

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

○2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、平成16年(2004年)新潟県中越地震から20年という、災害の発生から節目の年となります。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト 2024」が立ち上がり、気象台も参加しています。 <https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

※気象台ではこの活動の取組の一つとして、これらの特設サイトを開設しました。(令和6年4月26日)
過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心がけると共に、防災教育等にもご活用ください。



新潟地方気象台HPのトップページで各サイトへのリンクを掲載しています。

【令和 6 年能登半島地震の各種資料】

○令和6年能登半島地震の関連情報

関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

令和 6 年 1 月 地震・火山月報(防災編)に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和 6 年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

注) 利用にあたって

- 資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- 新潟県内で震度 1 以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- 気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注 1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

- この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- 資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

8月26日は 火山防災の日

8月26日は、明治44年（1911年）に日本で最初の火山観測所が群馬県・長野県の県境にある浅間山に設置され、観測が始まった日です。

令和5年（2023年）、活動火山対策特別措置法の一部が改正され、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、8月26日を「火山防災の日」に制定しました。火山防災の日には、防災訓練等その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めることとされています。

●8月26日を「火山防災の日」とした理由

明治44年8月26日に、浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、機械を用いた近代的な観測がはじまったことから、この日を「火山防災の日」とすることになりました。



浅間火山観測所（1913.6.30.）

●新潟県の活火山

新潟県内には活火山が2つ（新潟焼山、妙高山）

あります。**新潟焼山**は新潟県西部に位置し、標高2000m前後の山地を基盤とする比高約400mのドーム状の小型成層火山です。山体の形成は新しく、過去の噴火では大規模な火砕流が発生したと考えられています。19世紀以降は水蒸気噴火を繰り返しており、1974年（昭和49年）の噴火では飛散した噴石により登山者3名が亡くなるなどの被害が生じました。

なお、最近では平成28年（2016年）にごく小規模な水蒸気噴火がありました。



新潟焼山（2016.1.26、樋口氏提供を加工して作成）



新潟焼山（1974.7.29 朝日新聞社提供）

●令和6年度火山防災講演会が開催されます！～つないだ記憶がモシモを救う～

令和6年は、新潟焼山火山災害から50年の節目となり、「噴火災害の記憶を次世代につなぐ」をテーマに開催します。

日時：8月25日（日曜）13時30分～15時30分 ※13時開場

会場：ふれあいセンター ビーチホールまがたま（糸魚川市寺町4-3-1）

詳細：<https://www.city.itoigawa.lg.jp/item/35671.htm>



※「火山防災の日」特設サイト

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/kazanbosai/index.html>